

令和4年度第6回国立市立学校給食センター運営審議会

会場： 国立市立学校第一給食センター大会議室

日時： 令和5年6月22日（木）午後2時から午後3時10分まで

出席委員：石田委員、田中委員、熊井委員、金城委員、村上委員、森川委員、田村委員、古屋委員、平井委員、久保委員、松浦委員、七条委員、里道委員（13名）

事務局：土方給食センター所長、宮本所長補佐、久保主査

【田中委員】 それでは定刻となりましたので、これより令和4年度第6回国立市立学校給食センター運営審議会を開始いたします。

委員各位におかれましては、お忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。本日は、山上会長が、公務でご欠席でございますので、副会長であるわたくしが司会進行を務めさせていただきます。

では、まず、本日の出欠席の状況ですが、先ほど申し上げました通り、校長会代表である山上会長、給食主任会代表の天野委員、食育リーダー代表の高寺委員学識経験者で東京都多摩立川保健所の内藤委員、同じく、学識経験者で日本獣医生命科学大学の小澤委員から欠席の連絡をいただいております。

それでは、まず、資料の確認をしたいと思います。事務局よりお願いします。

【事務局】 それでは、議事に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

事前にメールいたしました、運営審議会次第、資料1-1の令和4年度事業報告、資料1-2から1-5で、学校給食食材等の放射性物質の測定検査及び産地について。資料2として、令和4年度学校給食費決算報告書。資料3で、令和4年度事業総括となります。

最後に冊子で、国立の学校給食食育ビジョンと、席次表を本日、机上に配付させていただいております。過不足等ございますでしょうか。

ありがとうございます。以上です。

【田中委員】 ありがとうございます。

それでは、(1)の事業報告についてを議題とします。事務局から報告をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事業報告につきまして、御説明いたします。資料番号1-1を御覧ください。

令和5年2月22日の第5回運営審議会以降、本日6月22日までの4か月分の事業報告をさせていただきます。

主なものですが、3月22日に3学期の小学校給食、23日に中学校給食が終了いたしました。

新年度につきましては、4月10日に小学校、11日に中学校を開始しております。

27日に、多摩地区学校給食共同調理場協議会総会及び場長会が武蔵野市で開催され、国立市から私所長が出席いたしました。

5月18日には、多摩地区学校給食共同調理場協議会、管理運営研究部会が昭島市で開催され、国立市から事務主査と、栄養士主査が出席いたしました。

6月14日には、学校給食費決算について、監査委員に監査をしていただきましたので、後ほど監査の報告をしていただきます。

最後に本日、第6回運営審議会という経過でございます。

以上主なものについて報告させていただきました。

続きまして、資料番号1-2から1-5でございますが、外部検査機関による放射能測定の結果につきましては、資料のとおりでございます。

また、3月から6月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定日も、同資料に記載されております。

報告につきましては、以上でございます。よろしくお願いいたします。

【田中委員】 ありがとうございます。

報告が終わりました。御質問や御意見がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

特にないようですので、次に移ります。

それでは、(2)の令和4年度学校給食費決算報告についてを議題とします。事務局から報告をお願いします。

【事務局】 それでは、令和4年度学校給食費決算につきまして、資料2により報告させていただきます。

まず、1ページでございます。収入の部ですが、給食費は、調定額2億4,816万9,866円に対し、収入額は2億3,894万6,536円。未収入額は826万2,844円で、収納率といたしまして、96.28%でございます。なお不納欠損額につきましては、96万486円でございます。

給食費の内訳率が、令和4年度の現年度給食費といたしまして、調定額が2億3,975万2,445円に対して、収入額は2億3,844万4,087円。未収入額は130万8,358円で、収納率は99.45%でございます。

令和3年度以前の過年度給食費としては、調定額が841万7,421円に対し、不納欠損額が96万486円。収入額が50万2,449円、未収入額が695万4,486円で、収納率につきましては、5.97%でございます。

前年度繰越金が477万6,093円。雑入が、預金利子、廃油売却収入で7万4,646円でございます。最後に、令和4年度は、昨今の社会情勢による物価高騰対策で、食材費の補填分として、国の地方創生臨時交付金を活用いたしまして、補助金として1,991万円を繰入れてございます。収入額の合計といたしましては、2億6,370万7,975円でございます。

下段、左の支出ですが、主食購入代として3,139万3,802円。副食購入代としまして、1億6,497万7,006円。牛乳購入代として5,050万6,685円。調味料購入代として933万5,705円で、合計は2億5,621万3,198円でございます。

右側の表ですが、収入合計から支出合計を差し引いた残額は749万4,777円になりますが、この残額を令和5年度に繰り越すものであります。

続きまして、2ページでございますが、2ページ以降につきましては、1ページで御説明いたしました内容の補足資料となっております。2ページ3ページにつきましては、1ページで説明しました現年度給食費の収入における調定額、収入額、未収入額、支出額等をそれぞれ小学校、中学校別、月別で示しております。2ページが小学校で、3ページが中学校でございます。さらに、喫食者数を添えております。

続きまして、4ページでございます。4ページにつきましては、1ページで御説明いたしました、物資購入代の支出に係る小学校における月別の内訳を示したもので、さらに主食と副食について再分類しております。

続きまして、5ページでございます。5ページは同様に、中学校における物資代金の月別の内訳を示しております。

続きまして、6ページでございます。6ページは、1ページで説明いたしました過年度給食費の収入と、不納欠損額の対象年度等を示したもので、不納欠損につきましては、収入がなく、10年を超えたものは、表上、平成24年度分の76万4,936円が該当いたします。

また、収入合計額内訳といたしましては、小学校分が24万1,979円で、中学校が26万470円。収納率といたしましては、5.97%でございます。

続きまして、7ページでございますが、7ページ、不納欠損処分について御説明した文書となります。給食費の未納者に対しましては、平成2年の国立市立学校給食センター運営審議会の審議の結果をいただきまして、納入がなく10年を超えたもの及び、5年を超えて市外に転出したものについては、不納欠損処分を行うということで確認されております。この確認に基づきまして、31件、96万486円を不納欠損処分としたということでございます。

続きまして、8ページでございます。8ページは、今お話ししました過年度給食費の未納額を小中学校及び年度別に示したもので、上段が人数で、下段が金額でございます。

続きまして、9ページは、不納欠損の対象者を記載してございます。なお、名前につきましては、英字に置き換えておりまして、同英字のハイフン1、2とありますのは、兄弟等の環境を示しているものであります。

続きまして、11ページでございます。11ページはそれぞれの項目における前年度との比較の資料となります。現年度給食費収納率としましては、99.45%で、令和3年度より0.01ポイント上昇いたしました。

過年度給食費収納率といたしましては、5.97%で、令和3年度より3.15ポイント低下いたしました。

現年度過年度合わせた収納率は96.28%となり、令和3年度との比較において、0.02ポイント低下いたしました。

未収入額ですが、合計額は、令和3年度と比べ、16万617円減の826万2,844円でございます。

次のページにつきましては、去る6月14日に行っていただきました監査報告書を添付してございます。報告につきましては、以上でございます。よろしくお願いいたします。

【田中委員】 ありがとうございます。

御質問等がある場合は、監査委員の監査報告を受けてから伺いたいと思います。

それでは、第四小学校の金城委員と第五小学校の村上委員、よろしくお願いいたします。

【金城委員】 それでは、監査報告をいたします。監査報告書を御覧ください。

監査は、6月14日水曜日、午前10時頃から、第1給食センター会議室で行いました。

監査の内容は、令和4年度の学校給食費の収支書類と証拠書類を監査したもので、監査の

結果はここにありますとおり、令和4年度の学校給食費収支状況について、帳簿及び預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年6月22日、国立市立学校給食センター運営審議会、監査委員、金城知枝。監査委員、村上まどか。以上です。

【田中委員】 ありがとうございます。

金城委員、村上委員、お忙しい中、帳簿や関係書類について監査をしていただきまして、ありがとうございました。

それでは、御質問や御意見がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

特になければ続きます。

それでは、(3)の令和4年度事業総括についてを議題といたします。事務局からお願いします。

【事務局】 それでは、令和4年度の事業の総括につきまして、前年度との違い等、ポイントを絞って御報告いたします。

1、食の安全安心の確保の(1)の④地場野菜の使用率につきましては、18.24%と、令和3年と比べまして、0.01ポイントの微増とほぼ横ばいとなっております。

(3)給食の充実につきましては、⑤で、市内の調理・製菓のプロフェッショナルを養成する学校、エコール辻東京及びくにたち図書館とのコラボ給食を企画・実施いたしました。令和5年度以降も、各方面の方々とコラボ給食を継続計画していきたいと考えております。

⑧では、未就学児とその家族向けの試食会を企画・実施いたしました。秋頃から実施し、計7回、試食者数70名でございました。今後も、新たに小学校に御入学される児童や保護者の方々に対しまして、給食への不安の払拭や、興味を持ち、楽しみにしていただけることを念頭に、こちらの事業に関しても、継続実施していきたいと存じます。

⑨として、第2学期のくにたち食育推進・給食ステーション開設を鑑み、地場農産物のさらなる活用促進のため、市内若手農家の方々がメンバーの一部であるNPO法人、くにたち農里MEMと新規参入に向け、協議を進めていきました。

(4)食物アレルギーへの対応につきましては、次のページの黒ポチの3つ目で、令和5年度第2学期から始まるアレルギー等対応食に向けて、学校側として、校長会、副校長会、給食主任会、保健主任会の各代表メンバーとして、国立市学校給食食物アレルギー等対応検討協議会を立ち上げました。

2、食育推進の（1）食に関する理解の促進では、黒ポチ2つ目で、3月にくにたちの学校給食食育ビジョンを策定いたしました。本日も配りしたものでございます。

（2）学校との連携では、5月に各学校長へ向けまして、現給食センターの見学が実質的に最後の年度となることから、学校に児童生徒のセンター見学を積極的に企画していただくよう懇願いたしました。校長先生の御協力のもと、初めて特別支援学級の生徒も訪問していただいたり、多くの学校で見学をしていただきました。

最後に今後の課題でございますが、第2学期から新たにくにたち食育推進・給食ステーションにおいて、給食提供が開始されることを鑑み、現給食センターからの円滑な業務移行と、良好で安定した給食提供を保持できるよう万全を期すことといたします。

給食センターの総括につきましては、以上でございます。よろしく願います。

【田中委員】 ありがとうございます。

御質問や御意見がありましたら願います。

【石田委員】 第一小学校の石田です。1年間、ありがとうございます。

先ほどの事業報告でお聞きすべきだったかもしれないんですけど、前回、結構異物混入が頻発した経緯があったと思うんですけど、その後のいろいろとヒヤリ・ハット報告するですとかそういった対策を立てられていった結果が、今回の事業報告で、1回も異物混入なしということが出てきて、成果が出てきているということなのかなと思ったんですけど、それはやはり成果として得られているということでしょうか。

【事務局】 前回の会議も踏まえまして、ヒヤリ・ハットも含めまして、調理員にはさらなる注意喚起を図ったところでございます。

実際のところ異物混入事件はなかったんですが、実際にヒヤリ・ハットということで未然に防いでいる部分もございました。

事前に、給食の調理上の段階で、異物、例えば昆虫ですとかを発見するという場合もございまして、しっかりそこら辺は調理員さんが見ていただいているんで、見ていただいたものに関しては、その後も、調理した後も、配食する際も、1個1個丁寧に見ていただいているので、結果なかったというふうな認識でございます。

【石田委員】 分かりました。成果が出ていることを知ることができてとてもよかったなと思います。ありがとうございます。

【田中委員】 ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

特になければ、よろしいですか。

それでは、次に移ります。

最後に（４）その他ですが、委員の皆様から何かありますでしょうか。

【熊井委員】 三小の熊井です。よろしくお願いします。

1点だけ、ちょっと多摩地区で最近報告が上がっています、水道水のPFOSの件で、やっぱり給食センターでも水道水を使われていると思いますので、今まで放射線への対応とかもしていたんですけれども、何か対策とかは今後されていくとか、水道水については、水道局が管理していると思うんですけれども、市内で水道水の検査結果とかも見てみますと、結構検出の報告とかも上がってきていたりで、保護者としてはちょっと不安な状況ですので、その辺の対策なんかをお聞かせいただけますとありがたいです。

【田中委員】 事務局、お願いします。

【事務局】 まず、今おっしゃる水道水の関係なんですけど、まず、地場野菜に関しまして、国立に納入されている野菜ですね、国立産の野菜。これに関しましては、基本的に主力で納めている方、2件ほど農家があるんですが、その方にお伺いすると、まず、水分に関しては、基本的に雨水、天候の雨のほうに頼る、当然だと思うんですけどということで、ただ、日照り続きの場合とかを想定して、畑に水道を引いているという方もいらっしゃいました。

ただ、水道を使うのも限定的だと思いますし、当然畑ですので、普通ですと何千平米という土地ですので、何千平米に水をまくというのもなかなか難しいのかなと思いますので、そういう部分では雨水なんだろうなという認識をしております。

では、水道水はどうかということなんですけど、もう御存じの方もいらっしゃるかもしれないんですけど、NHKのクローズアップ現代で取り上げられたという部分というもありまして、実はここで、議会でもいろいろ出ました。私も答弁させていただいたところであるんですけど、東京都水道局ですよね、国立市の水道水は。この水道水は、東京都水道局が令和2年度に調べまして、水源、基本的に河川と、あと、地下水の水源を混ぜて水道水に使っているんですが、その水源の中でPFASの検査をして、基準値より高かった場合には、令和2年度に使用を停止しております。

ですので、今の水源に使っているところはPFASの基準値を下回っているという認識で受け止めております。なおかつ水道水に関しましては、定期的に東京都水道局が検査をしております、今のところ国立に限らずですが、東京都全体で基準値を上回ったところはないというふうに聞いております。

それは常にホームページで公開されていますので、基本的に7万6,000人の市民の方、皆さん水道を飲まれているかと思うんですが、その点につきましては、水道水は、そういうことで基準値は大丈夫だろうと。

あと農産物、全国農産物に関しては、農産物を調べる基準値がまだ国で明確にされていないんです。そうすると調べようがないと言ったらおかしいんですけど、これより高いから、これより低いからというのができないので、今のところは風評被害の関係もありますので、あまりこう、全国の動向を見ながらって感じになるんですが、一応国のほうにはそういう基準を示すようにということで要望書は出ているようなので、今後の動向を見守っていききたいなと思っているんですが、今のところは独自で調べるというような認識は、国立市は、給食に限らずですが、今のところはないというところでございます。

【熊井委員】 ありがとうございます。

【田中委員】 ありがとうございます。

お願いします。

【七条委員】 医師会の七条です。

今年の2学期から新しい学校給食センターが開始されるわけですがけれども、それに関して、新学校給食センター通信第5号というのが書いてあって、令和5年2月に発行されているんですけども、その中で、令和5年度2学期より食物アレルギー等対応食の提供を開始しますと。これ皆さん御存じなんですか。見ないと分からないですよ。

【事務局】 給食センター通信は全保護者に配っておりますので。

【七条委員】 そうなんですか。じゃあ、皆さん御覧になっているわけですね。その中で、これ確認なんですけども、これ、牛乳と卵の除去している子たちの代替食はやってくれるということですか、これは。代わりの、牛乳と卵のアレルギーがある子は、それが摂取できないのでそれに代わるものを出すという、提供するということですか、これは。

【田中委員】 お願いします。

【事務局2】 基本的にそのように考えていますが、例えば飲料で、飲むヨーグルトとか、コーヒーミルクは、初めは除去でいこうと思っています。

【七条委員】 そうすると、今とあんまりそんなに変わりは、今の学校給食センターだと、要するにそういう食べ物アレルギーがあると、食べられないから、あらかじめメニューを見ておいて、これは、お子さんと親御さんでこれは今日食べられないよねとか、それを除いて食べていて、本当に栄養的に問題なからうかとして僕ずっと思っていたんですけど、今度新

しい学校給食センターができて、代替食をやってくれるんだらうなあと期待していたんですが、今のお話を伺うと、きちんとした代替食をやるわけではないんですね。

【事務局 2】 一部代替食になりますので、例えばスープとか、主菜が乳・卵であった場合は、別の料理を出します。ただ、デザートや飲料については、初めは除去から始める予定です。

【七条委員】 始めて、その後どういうふうにされていく予定ですか。

【事務局 2】 一定期間安定的に供給ができれば、代替を増やしていこうと思っています。

【七条委員】 あとこれ、乳と卵やっていますが、実は三大食物アレルギーで、一番多いのは鶏卵、牛乳、その次小麦なんですけど、小麦の代替はやらないんですね。

【事務局 2】 小麦はやる予定はありません。

【七条委員】 そうですか。

【事務局 2】 市内に小麦のアレルギーの子がそんなに多くなくて、むしろ、エビとか、カニとか、そちらのほうが多いので、必要のある食品を対象にしていこうかと思っています。

【七条委員】 なるほど。だからそこに、状況に応じてエビ・カニをはじめとした対象品目の拡大を進めていきますって書いてあるのね。

ただ、御存じだと思うんですけど、実は、今、ナッツアレルギーが非常に増えているんですね。ナッツというのは、それは、はい、ナッツですよみたいに出ていけばいいけど、例えば、お菓子の中に紛れ込んでいたりとか、そういうのがあるんですけど、ナッツって結構重篤なアレルギーを起こしやすい食品なので、その辺に関してはどうお考えですか。

【事務局 2】 国立市の学校給食では、特定原材料 8 品目のうち、そば、落花生、くるみ、それから、特定原材料に準ずる 20 品目のうち、アーモンド、いくら、カシューナッツ、キウイは使用しません。

【七条委員】 あとは、気になるのが、学校給食センターがきちっとやっても、校外授業で、結構、何か、漏れそうな気がするんですけど、その辺は給食センターの問題ではなくて、やっぱり学校サイドの問題ですかね。

【事務局】 確かに、給食と関わりたい部分はあるかと思うんです。今、うちのほうも当然学校給食に係るアレルギー対応の関係のマニュアル作っているんですが、食物アレルギー全般の教員さんが使うマニュアルもちょっと所管は違うんですが、教育総務課のほうで改定中でございます。

当然そこに学校給食も入りますが、例えば、エピペンの使い方とかというのも全部入り

まして、それを多分同じ時期ぐらい、夏ぐらいに完成予定でございますので、それで学校の教員に周知して、そこには当然校外学習のときにどう対処すべきかとかも載っていますので、必ず研修もやらさせていただいておりますので、これは、逆に、教育指導支援課のほうなんです、エピペンの使用とか、使用会とか、あと講習会なんかも開いておりますので、そこでの対応って感じになるのかなと思います。

【七条委員】 ありがとうございます。

【田中委員】 ありがとうございます。

ほか、何かございますでしょうか。

お願いします。

【村上委員】 五小の村上です。

一時期騒がれた、コオロギ食というのが、何かすごくメディアとかいろんなところで騒がれたと思うんですけども、実際にそのコオロギ食を取り入れている自治体とかも日本のいろんな県の中ではあるということを知っておりますが、もし、そういうものを導入するということを東京都なり国立市なりが意見として出た場合というのは、それを検討する、また、そういう会みたいなのが発足されるのでしょうか。それとももう決定事項として、突然、給食に入ってくるのでしょうか。

【田中委員】 お願いします。

【事務局 2】 コオロギ食については、全く考えておりません。

【村上委員】 ありがとうございます。安心しました。

【田中委員】 ありがとうございます。

ほかにごございますでしょうか。久保委員お願いします。

【久保委員】 二中の久保です。よろしく申し上げます。

先ほど七条先生からお話あったことにちょっと乗っかる形になるんですけども、新センターに移行してから、デザートや飲料は除去から始めて、一定期間安定供給が見込めたら、徐々にということだったんですけども、この一定期間が、具体的にどういう期間、例えば何か月とか何学期なのか、あるいは、ここまでという目標をクリアできて、それができたら開始するのかという基準をここで明確にさせていただけるとありがたいです。

【田中委員】 お願いします。

【事務局】 一定期間、逆に期間を設ければプレッシャーになってしまうのであれなんですけど、当然インシデントもなく、良好に安定的にという部分でございます。

何月何日だと言いつらいんですが、一応私たちとしては、3学期を目標にというふうな形で、心の中では思っております。

【久保委員】 ありがとうございます。ちょっと続けての質問になるんですけども、先ほど七条先生もおっしゃっていたとおり、栄養の部分で足りているんだろかという心配なんですけど、除去しましたってなって、ではこれを代わりに出しますというのは何かプランとしてはあるんでしょうか。

【田中委員】 お願いします。

【事務局 2】 先ほどお話ししたとおり、飲料やデザートについては除去するので、それに代わるものは初めのうちは出す予定はないです。

ただ、おかずについては、代替のものを出しますので、その辺は皆さんと近い栄養価になるかと思えます。

【事務局】 今、結構いらっしゃる牛乳除去と同じパターンだと思うんです。牛乳除去者に対しては牛乳を出してないので、多分自宅から飲み物を持って来たりとか何かしているかと思うんですが、そういう形、飲料とかデザートに関してはそういう形に最初はなるのかなとは思っております。

ただ、今ありましたように、例えばスープの中に乳が入っているとかなという場合、卵が入っているという場合には、そういう除いたものが、ラインが新しい給食センターAラインでありますので、例えばBラインに入ったものだけがAラインに入っていないという可能性も当然ありますので、ただAラインのものをBラインの方に出せばいいわけなんで、そこで栄養価が保たれるのかなという認識もございますので、そういう形でやっていきたいなと思っております。

【久保委員】 ちょっと詳しく聞いてもいいですか。何かイメージ的に牛乳を例えば除去しちゃったら、カルシウムが足りないなって、単純にそう思うんですけど、例えば、何か小魚を出すとか、そういう別の形でそこを補うみたいなのはなくて、完全に飲料とデザートでは取れないので、そのおかずの部分で、副食の部分で足りなかった場合に何かを入れてあげるといったことはないということですかね。

【田中委員】 お願いします。

【事務局 2】 牛乳除去の考え方と、アレルギー等対応食の考え方が別になってくるので、牛乳を飲まなかったから、その足りない分の栄養をどこかでという考え方は、今はないです。

そのほかについては、これから安定的に供給ができた、3学期を目標に取り組んでいこう

かなと思っています。

【久保委員】 ありがとうございます。

【田中委員】 そのほかありますでしょうか。

【金城委員】 四小の金城です。よろしくお願いします。

新センターに移った後、会議とかはどこで、会議とか、こういった会をどこで行われるのかなというのがちょっと気になっていまして、私、国立四小だと北から来るんで、ここで私の任期が終わって次の方に引き継ぐことになっているんですけども、そのときにちょっとその辺の話をしておいてあげたいなって思っていて、お願いします。

【事務局】 まず、新年度につきましては、第1回の会議が7月中に1回あるかと思えます。この建物7月いっぱいまでありますので、第1回目はこちらでやるという話になるかと思えます。

第2回目以降に関しては、基本的には恐縮なんですけど、泉1の3の6の新しい給食センターのほうに来ていただいて、2階に会議室、立派なのことができましたので、ここは当然車の置場所もないんですけど、あちは車の置き場所も地下にありますので、もしお車を運転できるようなことがあれば、お車で来ていただいても構わないですし、当然自転車置場もしっかりありますので、年に6回って形になってしまうんですが、恐縮ですけど、よろしくお願いします。

【金城委員】 ありがとうございます。

【田中委員】 ありがとうございます。

そのほか、何かございますでしょうか。

【久保委員】 二中の久保です。よろしくお願いします。

市議会の話がちょっと出たのでまた、それに乗っかる形になるんですけど、新センターに設置したソーラーパネルについてなんですけど、何かこれを今現在コンセント1個分ぐらいしか電力を賄えないということなんですけど、今後は増やしていく予定とかというのは、その事業者さんは考えていらっしゃるのでしょうか。

【事務局】 担当が違うもので詳しい話はあれなんですけど、今後、ソーラーパネルを増やしていくという話は聞いておりません。現状の面積の屋上に置くんですけど、面積のフルで置いている形になっていますので、あと、当然ソーラーパネル値段もかかるものですから、そういうものも含めてPFIで金額予算組んでいますので、私が聞いている範囲では、これ以上増やすという認識はないということでございます。

【久保委員】 ありがとうございます。

【田中委員】 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

よろしいですか。

そうしましたら事務局のほうで、何か。大丈夫ですか。

それでは、今回は最後の会議ですので、各委員から、御感想などを含めて、順番に御挨拶をいただきたいと思います。

【石田委員】 第一小学校の石田です。1年間本当にありがとうございました。

去年、娘が小学校入学して右も左も分からない状態で、義務教育に付随する給食ということであんまり意識もしていなかったんですけど、こうやってこの審議会に参加して、どれだけお心砕いて携わっていただいているのかというのを改めて認識することができて、とても勉強になりました。皆さんありがとうございました。

【熊井委員】 三小の熊井です。

今年初めて委員をさせていただきました、ちょっと1年間という短い間だったんですけども、この旧センターから新センターに移り変わるこのタイミングで、委員に携わらせていただきまして、いろいろ勉強になることがたくさんありまして、本当にどうもありがとうございました。

子供たちが食べている給食が、どういったところで作られて、どういった経緯を経て小学校で提供されているかという、一連の流れというのを非常に知ることができたので、今後も、来年は委員からは外れるんですけども、何かの形で携わっていければいいなと思っています。ありがとうございました。

【金城委員】 四小の金城です。

1年間ありがとうございました。こちらの委員をやらせていただいて、給食に関する様々なことを知ることができて私自身大変勉強になりました。

子供たちのことを一生懸命皆さん考えてくれて、給食が提供されているんだということ、本当に感謝しかありません。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

【村上委員】 五小の村上です。

私は、今年が4回目です。来年度もやるんですけども、コロナ前と、コロナ中と、コロナ後という感じでこの給食センターさん、この委員会に関わらせていただいて、本当に、コロナ前の試食会は各学校でやられていて、すごく盛り上がりがあった給食審議委員の私も給食

委員とともに手伝いに行ったりとか、そういう時代でした。

コロナで試食会もできなくなって、また、明けて今試食会が増えてきて、新センターがこのタイミングで出来上がって、そこにいろんな人が集うようになったらいいなと本当に思っています。来年度もよろしくをお願いします。

【森川委員】 六小の森川と申します。

1年間、ありがとうございました。本当に初めてのことで、日々、毎回出るたびに勉強になって、すごく1年が深い学びになりました。

今の給食って、こんなコラボ給食とかやっているんだなということも、子供からも聞いてすごい喜んでいて、このみそ大豆、株式会社ソーキさんとのコラボ給食、すごく喜んでいました。なので、新しい給食センターになって、ただ業者さんが今度やるんですよね。違うんですか、そのまま。こういうよかったものはそのまま続けていってほしいなあとというふうに思いました。ありがとうございました。

【田村委員】 七小の田村です。

私も初めてだったので分からないことばかりだったんですけども、毎回すごいいろいろな勉強になりまして、こんなにいろいろな学校の方集まって話し合っ、給食が作られているというのを知らなかったのも、本当はもうちょっと学校にいろいろお知らせしたいんですけど、ちょっとなかなか機会がないんですが、また、新しい給食センターもできるので楽しみにしています。1年間ありがとうございました。

【古屋委員】 八小の古屋です。

私も、今年度で初めて給食センター審議委員にさせていただいたんですけども、毎回の会議で事業の報告ですとか、会計の件を伺って、いろいろな方が、子供たちのために頑張っ、てやっ、ていただいているなというのを痛感いたしました。

今年の夏からの新しい給食センターのほうのよい出発と、また、そこで試食会などがあつたら、ぜひ行かせていただきたいなと思いました。今後ともよろしくお願いいいたします。

【平井委員】 一中、平井です。

1年間どうもありがとうございました。とても勉強になりまして、給食センターの方々が一生涯懸命子供たちのためを考えていろいろ取組をしてくださっているというのが学べて、本当に1年間大変勉強になったなというふうに思っています。

もうすぐ移転を控えていて、移転って、本当大変だと思うんです。私たち楽しみだなあと思いながらちょっと見に行きたいなぐらいの感じですけど、本当にセンターの方々、すごく

大変だと思うんですけども、スムーズに移転が成功するようにお祈りしています。

あと、来年度は、私違う方にやっていただくことになるので、今年度で終わりにはなるんですけども、違う立場のほうから今年勉強したことをいろんな方に伝えたりとか、お役に立てることがあったら、これからもいろんな方に伝えていくなどしていきたいなと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【久保委員】 二中の久保です。

1年間ありがとうございました。今、うしろに、皆さんのこちら側なんですけど、おいしい給食ありがとうって書いてあって、紙も剥がれかけたりとかしているし、うしろは、給食着というか、調理員の皆さんが着ていらっしゃる服もかけてあって、こういった景色が見られるのもうあと少しなんだなと思うんですけども、と同時に、本当に50年とか食中毒出さずに、ここまで持ってきてくださったその給食に関わる全ての方に本当に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

それから給食費の収納率なんですけど、例えば令和元年度は96.38%だったんですけども、現年度は99.45%ということで、ちょっとセンター長の偉業をたたえたいと思います。本当にありがとうございます。

新センターがないところ、PFIで始まるよというところからすったもんだあり、決まって稼働し、2学期から開始ということだったり、給食費の値上げをね、するしないでまたすったもんだがあって、牛肉が出るようになり、今の施設もね、何かちょっともうぼろぼろだけど、みんな頑張っているということで本当に何かこう、関われば関わるほどもうどれだけの方が支えて、1食1食が作られているかというのは本当に、ありがたく思っております。

今年で審議会の委員を卒業なさる方も、続ける方もいらっしゃると思うんですけども、本当に、今後もいろんな形で関わっていただけたらすごくありがたいなと思いますし、新しいセンターになってからいろんな可能性ですよね。アレルギーがある子もない子も楽しく給食の時間を持てるというような、いいセンターになればいいなと思うし、その可能性を感じさせてもらっているなと思います。本当にありがとうございました。

【松浦委員】 三中の松浦です。

1年間ありがとうございました。やっぱり、委員にならないと分からないことがすごくたくさんあって、やはり給食センターでこれだけ丁寧に、確実に安心・安全というところを徹底してというのは、頭では分かっていたけど、こういうふうになっているんだというのは、実際やっぱり初めて分かったところが大きかったので、もう本当委員ではない方たち

にもたくさん伝えていきたいなあというふうにごく思っています。

やっぱり知っていただくために何か、さっきちょっと言おうかどうか悩んで言わなかったんですけど、何かそのお手紙とかで取組とかもいいなあと思って、正直その学校から、今、来る手紙とかちょっと流し読みという感じになってしまうところもあるなと思うんですけど、自分がすごくもう本当に、なめ回すように見たのは、入学説明会の資料とか、そういうところに給食ってこれだけ気を使ってこうやってやっているからもう安心して食べても大丈夫とか、放射線のこととかも、何か国立の基準はこうでこうだから、すごく安全に作っているとか、そういうのもあったら、何かもっと安心して、給食大丈夫なんだというふうに初めての親御さんなんかも思ってくれるのかなというふうに少し思いました。

個人的に学校によく出入りしているんですけど、給食の時間も、黙食をやっともう終了して、今子供たち楽しそうに話をしながら食べている姿がすごくよく見られて、本当に何かこれがおいしいとかやっぱりしゃべっているんですよ。すごくいい時が戻ってきたなあと思って、本当にうれしく思っています。

それだけ子供たちにとって給食ってすごく大きくて、勉強より給食食べに行きますみたいな子もたくさんいると思うので、本当にありがたい限りです。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【七条委員】 医師会の七条です。

1年間どうもありがとうございました。今年の2学期から新しい給食センターがやっとオープンするというのは大変うれしいことだと思います。

ただ、先ほどもちょっと質問しましたように、アレルギー対応がどの程度やっていただけるのかなあというのが、若干、正直不安なところはあるんですけども、でも、きっと、給食センターの方々が頑張っってやっていただけるんだろうと思って期待しております。

私も長いことこの給食委員というか、運営審議会委員やっているんですけども、本当に参加される委員の方が非常に熱心で本当にすごいなあと思って、毎年感心して聞かせていただいていますけれども、また、来年度も私はやらせていただきますが、また、次回から新しい方が参加されたり、さらにまた引き続きやられる方もいらっしゃると思いますけれども、今後ともよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

【里道委員】 国立市薬剤師会から来ています里道と言います。

1年間ありがとうございました。オブザーバーですので、皆さんのいつも熱い意見を聞いて、刺激をもらっております。

秋からの新しい給食センター、とても楽しみにしています。今ふと思ったんですけど、コロナ終わったというお話ちょっと出ていましたけれども、七条先生も実感されていると思うんですけども、ちょっと患者さん増えているかな、薬局に来る人いますので、今までの経験をまた引き続き続けながら、完全には終わっていませんので、ちょっと油断し過ぎず、生活していけたらいいなと思います。ありがとうございました。

【田中委員】 第二小学校の田中です。

最終日に、山上会長がお休みになるとあっておらず、急遽、司会をやらせていただきましたが、お聞き苦しい点があったかと思えますけれども、無事終われそうです。ありがとうございます。

1年間、今年度初めて給食審議委員をやらせていただいて、もう知らない言葉がたくさんあって、給食審議委員にならなければ知り得なかった、分からなかったことがたくさん出てきて、初年度は何をどう質問していいのかも分からず終わってしまったので、もうすぐ新センターもできるということだったので、引き続き、この給食センターを見守っていきたくて、次年度も引き続きやらせていただくことになりました。

松浦委員からもありましたけれども、息子が1年生に入学して、給食がまだか、まだかとうずっと待っていて、やっと始まって、給食が始まるまでは、やっぱり3時間授業、4時間事業で帰ってきてしまうので、ちょっとモチベーションが落ちかけていて、帰ってきてからも、疲れているし遊ぶ気にならないしというのがちょっと4月の終わりぐらいまで続いていたんですけども、給食が始まってから、ものすごくおいしい、楽しい、みんなで机合わせて食べるのがすごい盛り上がりしているというふうに教えてくれて、給食ジャンケンで独り勝ちしたとか、そういうのを教えてくれて、ただ、学校に勉強しに行くだけだとつまんないかもしれないですけど、何か健康で、おいしい給食を食べに、みんなでわいわいしに行くというモチベーションができたことがすごくよかったなと思いました。

週の終わりに持って帰る学級通信に、白黒なんですけど、1人給食をがっついてる男の子が写っていて、みんなは、カメラに向かってピースとかしているんですけど、がっついてる子はまさに我が子で、先生は多分こっち向いてとかピースしてとか言っているんだと思うんですけども、何かそんなのも気にせず食べているような感じだったので、何かそういう光景を私も見たいなと思いましたし、何かそういう子が1人でもいるというのは給食センターの皆さんにも、何か御礼をお伝えしたいなと思ったので、引き続き、来月から令和5年度の審議委員、始まると思いますけれども、引き続きよろしく願いいたします。1年間

ありがとうございました。

それでは、本日の議題は全て終了いたしました。

ではこれで第6回学校給食センター運営審議会を終了いたします。

1年間、皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。

— 了 —